

(生活・行政サービスの向上－ 5)

**地区長の顔が見えるお知らせの配信  
～双方向告知通信システムを活用した動画での地区放送～  
(新潟県村上市山北地区)**

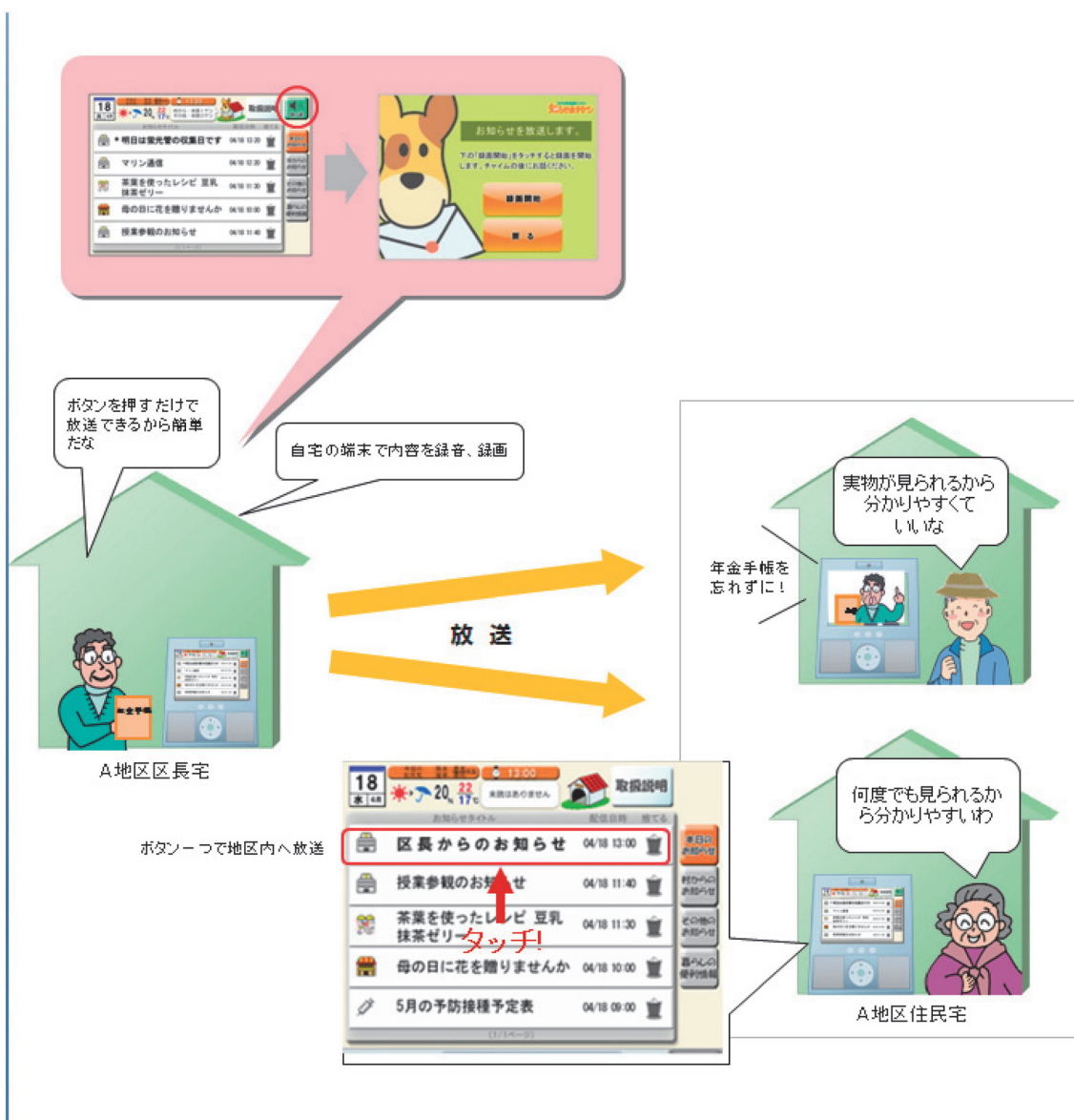
**【概要】**

山北地区では、双方向告知通信システム「知らせますケン」を導入し、光ブロードバンドネットワークを通じて、顔が見える告知放送を行っています。行政(山北支所)からの情報だけでなく、各地区長が自主的に簡易放送機能を利用し、地区内に集会の案内や連絡事項の伝達を行えます。簡易放送は告知端末からテレビ電話機能を利用し、動画で情報配信するため、文字を打つ手間はなく、視覚的に案内ができます。

**【コラム】**

山北地区には48の集落(地区)があります。その各々に区長がおり、通常、行政のお知らせの伝達や広報誌の配布など、地域に必要な情報を届ける重要な活動をされています。そのため、今回はより情報を早く簡単に伝達できるように各戸に設置した告知端末を利用し、区長から各区内にテレビ電話を利用した簡単なグループ放送を実現させました。端末は各戸に設置した通常の告知端末をそのまま利用します。ただし区長の端末だけセンターで簡易放送機能を追加するよう設定します。設定すると、トップ画面にマイクのボタンが現れ、ボタンを押すとカメラに映った映像を録画し、グループ放送として地区内に一斉送信出来ます。お知らせを配信する際は、配信ボタンをタッチするだけで、簡単に操作できます。また、動画でお知らせするので、わかりやすくより正確に情報が伝えられます。聞き逃しても再生は何度でもできて、便利です。通常システムは放送装置が別に必要になりますが、このシステムは1台で可能なため、場所もとりません。

また、区長が変わった場合でも、センターで簡易放送が出来る端末の権限を変更するだけなので、端末を移動させたり、それに伴う工事等が必要が無く、運用面でも負担を減らすことができます。



(問い合わせ先)

東日本電信電話株式会社 ビジネス&オフィス営業推進本部 公共営業部  
TEL:03-6803-9055

株式会社アイ・コミュニケーション  
e-mail:nishiwaki@i-communication.co.jp